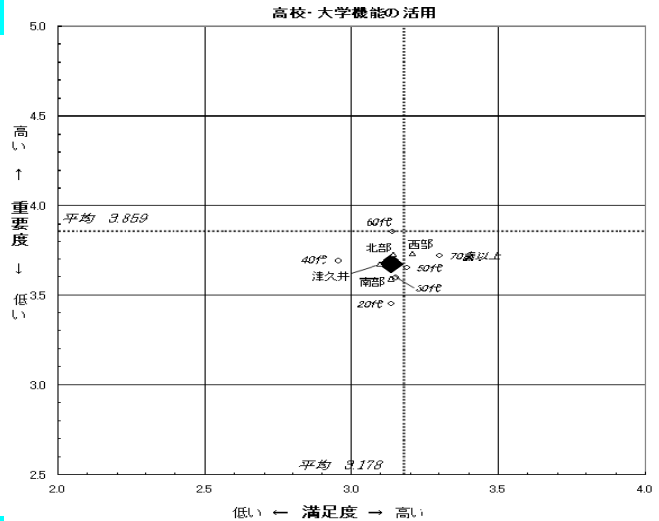


4 市民満足度調査結果(平成20年度実施分)

○この施策の満足度は3.134で121施策の中で66番目。
 ○重要度は3.675で90番目である。
 ○改善要望度は-0.0991で85番目である。
 ○年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。重要度は60代で最も高く、20代で最も低くなっている。
 ○地区別にみると、満足度は西部で最も高く、津久井で最も低くなっている。重要度は西部で最も高く、南部で最も低くなっている。



5 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回(H18)評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 (2) 1	4 (2) 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 (1)	4 2 (1)	
合計		3		評価結果に基づく区分(2項目の合計点数による) A(6点以上) B(5点・4点) C(3点以下)
				1次評価 C

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	高校・大学機能の活用は、基本的に、様々な分野において施策達成のための手段の一つとして捉えるものであるため、活用そのものを施策とすると構成する事業は限られてくる。
解決策	新しい総合計画を策定する中で、施策の構成等について検討する必要がある。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

	2次評価 C
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

学生中心のワークショップの設置数や共同開催事業数なども指標として検討すること。	3次評価 C
---	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

構成事務事業一覧

単位:千円

事務事業 担当課	構成事務事業	H19決算見込 (事業費)	H20予算 (事業費)	H21見込額 (事業費)	事業効果 の高い 指標番号	前回の 優先順位	H17人員 (人)	H17決算額 (事業費)	H17合計 (人件費含む)
企画政策課	大学地域連携事業	1,000	1,000	1,000	1, 2	1	1.00	3,502	11,552
産業振興課	産学連携支援事業					再掲	0.16	13,444	14,732
総合学習センター	市民大学実施経費					再掲	1.50	4,110	16,185
高齢者福祉課	高齢者大学運営費					再掲	30.60	26,954	273,284
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		1,000	1,000	1,000			33.26	48,010	315,753